

六歳になれば、あたり前の道でないことを行ふて居る、親達はそんな事を全く知らない、十五六の子供にして青い顔をして居るものに對しては餘程警戒せねばならぬ。

早婚せなくとも他の道で随分身體を悪くして居るものがある。それを除く爲には早婚はよい、性欲に關する話を正直にする様にならねばならない。性欲の話を人の前で云ふことを非常にいやがる癖は甚だいけない、性欲を秘密なるものと考へるのは大なる間違ひである。濫用されない性欲を汚いと考へる程誤つたことはいない、ラツセルは「人間の性欲は衣食住と同じく考ふべきものである」といふて居る。食欲をいやしいものであるとされるのは食過したり人のものをとつて食ふからいやしいものとされるので自分が働いて食ふ正當に食ふ事に何がいやしいことがあるか、性欲もその通りであつて濫用する人があるから正當の道をふまない邪道を行ふ人があるから性欲をいやしいものとされるのである。性欲の話を公然することは敢て差支